

令和3年度
事業報告書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

令和3年度事業報告書の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成なし。

令和4年5月11日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

令和3年度事業報告書

1 県臓器移植コーディネーター業務

臓器移植及びアイバンク事業について、円滑な実施並びに関係機関との連携強化を図るため、県より臓器移植コーディネーター設置業務を受託し、事務局に県臓器移植コーディネーターを2名設置し、以下の事業を実施した。

(1) 臓器提供発生時対応

臓器提供情報対応件数：1件（家族の意向により説明に至らず）

角膜提供件数：3件（5眼提供、内4眼移植）

(2) 脳死下臓器提供可能な5類型施設、院内コーディネーターの設置された施設への訪問 事務局と県コーディネーターが病院長訪問をして施設の臓器提供体制確認を行った。

- ・いわき市医療センター
- ・ときわ会常磐病院
- ・会津中央病院
- ・竹田総合病院

(3) コーディネーターの資質向上や情報交換を目的とした学会や研修会等への参加

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク主催会議、研修等（WEB）

- ・全国都道府県コーディネーター連絡会議（令和3年7月1日、令和4年3月4日）
- ・臓器移植コーディネーター個別研修 ロールプレイ
（第一報受信、家族面談、心停止後院内外調整）
- ・北海道・東北臓器移植コーディネーター会議（3回）

福島県立医科大学移植部勉強会（5回）

福島移植フォーラム（令和4年2月19日）

都道府県臓器移植推進組織協議会総会（令和4年1月21日）

公益財団法人日本アイバンク協会主催 全国連絡協議会（令和4年2月25日）

西日本組織移植コーディネーター研修会（令和4年2月19日、20日）

西日本組織移植コーディネーター勉強会（WEB・21回）

2 臓器移植及びアイバンク事業の普及啓発活動の推進

(1) ポスター、リーフレット等による普及啓発

- ・ 県内道の駅、県内58店舗の保健調剤薬局、医療施設等に臓器移植関連ポスター、アイバンクポスターの掲示とリーフレットの設置を依頼した。
- ・ 若い世代への意思表示促進を目的として、成人の日のイベントで配布する臓器移植リーフレットの市町村への発送に協力した。
- ・ 県民、医療機関等の問合せに対応し、各種リーフレット等を送付した。

- ・ 福島市の協力により、福島市内の地下道掲示板にポスターを常設掲示した。
- ・ 福島県庁県民ホール等吊り下げポスター、パネルによる普及啓発（10月、2月、3月）
- ・ 福島県立医科大学駅前キャンパスエントランスでのバナー及びポスター掲示（9月）

(2) イベント等での普及啓発活動

献血事業に参加してバナーと普及啓発ブースを設置しアイバンク登録と臓器提供意思表示の呼びかけを行った。（県庁玄関ホール 4月7日、9月6日、1月17日）

(3) 第37回愛護デー講演会（郡山市）COVID-19のため中止

(4) 他団体等広報支援による普及啓発

福島県地域医療課協力による県政番組出演（10月9日）

FCT「ふくしまチャレンジ情報館」

町村会機関紙「ふくしま自治」掲載

ライオンズクラブ会報「ライオン福島」掲載

(5) グリーンライトアップ（11か所）

臓器移植推進月間グリーンリボンデーに合わせてライトアップを行っていただいた。

〈場所〉 鶴ヶ城、福島空港、道の駅安達下り線（万燈桜）

東北電力無線鉄塔（会津若松市、福島市、いわき市）

東北電力発電所煙突（南相馬市）

常磐共同火力株式会社勿来発電所煙突

ネクスコ東日本安達太良サービスエリア上下線内

スパリゾートハワイアンズ（ウォーターパークドーム内及びビーチシアター）

(6) デジタルサイネージ

県内のイオン7店舗の食品コーナーのレジサイネージに電子公告を行った。

(7) 出前講座

COVID-19のため中止

(8) 財団 PR 動画の作成

グリーンライトアップ画像を中心とした15秒動画を作成。

JOT 動画とともに福島駅前大型ビジョンで12月18日～31日に放映した。

福島市の協力で市役所玄関デジタルサイネージ、福島駅東口デジタルサイネージ、西口エールビジョンで令和4年3月1日から令和5年3月31日まで放映。

(9) ホームページ運用・QRコードの作成・YouTubeチャンネル開設

ホームページを活用し、財団の活動とお知らせ、臓器移植意思表示とアイバンク登録、腎臓移植検査費の助成、賛助会員と寄附の募集の呼びかけを行っている。

併せて、「べこ臓チャンネル」バナーで財団名を標記した YouTube チャンネルで PR 動画を放映。



財団ホームページ



べこ臓チャンネル

3 アイバンク事業

(1) 眼球提供登録申込書の受付と眼球提供登録カードの交付

- ・眼球提供登録申込者 11名

(2) 眼球摘出、あっせんの実施

- ・眼球提供者 3名(5眼) (前年度 3名、6眼)
- ・角膜あっせん 4眼 (前年度 あっせん 9眼)
- ・強膜あっせん 0眼 (前年度 あっせん 0眼)
- ・角膜あっせん要請 0眼 (前年度 あっせん要請 4眼)

4 腎移植希望者に対する助成(上限15,000円)

- ・14名 福島県腎移植希望登録者数171名(2021年12月31日現在)
- 膵腎同時移植 1件(784例目 静岡県内の病院)
- 肝移植 1件(820例目 福岡大学病院)

5 院内コーディネーター研修会の開催

院内コーディネーター研修会ビギナー編(令和3年9月25日、WEB)参加者31名

「臓器移植と臓器提供について」

福島県立医科大学 肝胆膵・移植外科学講座主任教授 丸橋 繁 先生

「角膜提供と角膜移植」

福島県立医科大学 眼科学講座助手 前原 紘基 先生

院内コーディネーター研修会アドバンス編(令和4年2月14日、WEB)参加者28名

「脳死下臓器提供における党员での取り組み・工夫・連携」

浜松医療センター 救急救命センター・救急科医長 水谷 敦史 先生

「脳死下臓器提供時の院内移植コーディネーターの役割と活動内容」

浜松医療センター 看護師兼院内移植コーディネーター 遠藤 祐子 先生

6 感謝状贈呈事業

贈呈者 0名

7 地域推進会議

県民に移植医療に関する意識と理解を高め、臓器提供意思表示をしてもらえるよう、財団、行政、医療機関、関連する団体との連携を図った。

- ・福島県立医科大学附属病院のシミュレーションに参加した。
- ・福島県立医科大学附属病院 院内勉強会に参加した。
- ・福島県警本部 捜査第一課検視官及び地域企画課を訪問し、臓器提供発生事案の状況説明をし、発生した場合の対応について具体的な打ち合わせを行った。
- ・医療従事者用「臓器提供ミニ知識」ポケットマニュアルを作成し配布した。

8 寄附金等募集活動（令和4年1月20日現在）

- ・福島県眼科医会様 30万円
- ・ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区様 30万円
- ・ときわ会常磐病院様（寄附型自販機設置による寄附）2台 59,063円
- ・福島県立医科大学駅前キャンパス様（寄附型自販機設置による寄附） 1,785円
- ・賛助会員数 0

9 役員会等の開催

(1) 理事会

第18回理事会（令和3年5月28日）書面決議

令和2年度事業報告及び収支決算を承認した。

第9回定時評議員会の開催について承認した。

臨時理事会（令和3年7月15日）書面決議

臨時評議員会開催について承認した。

臨時理事会（令和3年9月13日）書面決議

臨時評議員会開催について承認した。

第19回理事会（令和4年3月18日）WEB

令和4年度事業計画及び収支予算書を承認した。

(2) 監事会

第8回監事会（令和3年5月17日）

令和2年度の事業報告と収支決算について会計監査が行われた。

(3) 評議員会

第9回評議員会（令和3年6月25日開催）書面決議

令和2年度事業報告をした。

令和2年年度収支決算を承認した。

臨時評議員会（令和3年7月27日開催）書面決議

役員の選任について承認した。

評議員の選任について承認した。

臨時評議員会（令和3年10月6日開催）書面決議

役員の選任について承認した。